

# 図書館だより

小山城南小学校  
令和5年夏休み号

待ちに待った夏休みが21日から始まります。楽しい計画があることでしょ。たくさん時間がある夏休みです。ぜひ、本を読む時間を作ってみてください。そして、読書感想文にもチャレンジしてみましょう。読書感想文コンクールの応募について載せましたので、参考にしてください。本を読むことで、今まで知らなかった世界が広がります。感想文を書くことで、自分の考えを深めたり、確かめたりすることができます。たくさん本に出会って、心を豊かにしましょう。

## 第69回青少年読書感想文コンクールについて

### ◆対象図書◆

① 自由図書：自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。

※教科書、副読本、読書会用テキスト類、または、これに準ずるもの、雑誌、パンフレット類、日本語以外で書かれた図書および主催者の指定した図書は、対象としません。

② 課題図書：主催者の指定した図書

#### 低学年の部

- それで、いい！
- よるのあいだに・・・みんなをささえるはたらく人たち
- けんかのたね
- うまれてくるよ海のなか

#### 中学年の部

- ライスボールとみぞ蔵と
- 秘密の大作戦！フードバンクどろぼうをつかまえろ
- 化石のよぶ声が聞こえる 天才恐竜ハンターウェンディ・スロボータ
- 給食室のいちにち

#### 高学年の部

- ふたりのえびす
- 5番レーン
- 魔女だったかもしれないわたし
- 中村哲物語 大地をうるおし平和につくした医師



◆<sup>ようし</sup>用紙・<sup>もじすう</sup>文字数◆

- ① <sup>げんこうようし</sup>原稿用紙<sup>しよう</sup>を使用し、<sup>たてが</sup>縦書き<sup>じひつ</sup>で<sup>じ</sup>自筆<sup>して</sup>してください。
- ② <sup>もじすう</sup>文字数<sup>かき</sup>については<sup>かき</sup>下記<sup>のとおり</sup>のとおりです。
- <sup>ていがくねん</sup>低学年<sup>の部</sup>の部（<sup>いちに</sup>1・<sup>に</sup>2年生）<sup>ほんぶん</sup>本文 800字以内
- <sup>ちゅうがくねん</sup>中学年<sup>の部</sup>の部（<sup>さんし</sup>3・<sup>し</sup>4年生）<sup>ほんぶん</sup>本文 1200字以内
- <sup>こうがくねん</sup>高学年<sup>の部</sup>の部（<sup>ごし</sup>5・<sup>ろく</sup>6年生）<sup>ほんぶん</sup>本文 1200字以内
- ③ <sup>くどうてん</sup>句読点<sup>もじ</sup>は、<sup>かぞ</sup>1文字<sup>に</sup>に<sup>かぞ</sup>数え<sup>ます</sup>ます。改行<sup>かいぎょう</sup>のための<sup>くわはくかしよ</sup>空白箇所<sup>じすう</sup>も<sup>かぞ</sup>字数<sup>として</sup>として<sup>かぞ</sup>数え<sup>ます</sup>ます。
- ④ <sup>だいめい</sup>題名<sup>がっこうめい</sup>、<sup>しめい</sup>学校名<sup>じすう</sup>、<sup>かぞ</sup>氏名<sup>は</sup>は<sup>かぞ</sup>字数<sup>に</sup>に<sup>かぞ</sup>数え<sup>ません</sup>ません。
- ⑤ <sup>きょうめ</sup>1行目<sup>から</sup>から<sup>ほんぶん</sup>本文<sup>となり</sup>となり<sup>ます</sup>ます。
- ⑥ <sup>おうほひょう</sup>応募票<sup>よう</sup>（<sup>ひつようじこう</sup>要<sup>めい</sup>ふり<sup>がな</sup>がな）に<sup>さくひん</sup>必要事項<sup>いちばんうえ</sup>を<sup>ちようふ</sup>明記<sup>みぎかた</sup>し、<sup>さくひん</sup>作品<sup>の</sup>の<sup>いちばんうえ</sup>一番上<sup>に</sup>に<sup>ちようふ</sup>貼付<sup>して</sup>して<sup>みぎかた</sup>右肩<sup>を</sup>を<sup>クリ</sup>クリ
- <sup>アップ</sup>ップ<sup>として</sup>として<sup>ください</sup>ください。
- ⑦ <sup>おうほ</sup>応募<sup>じゆうどくしょ</sup>は<sup>かだいとしよ</sup>自由読書<sup>ひとり</sup>、<sup>べん</sup>課題<sup>おうほ</sup>図書<sup>それぞれ</sup>それぞれ<sup>に</sup>に<sup>ひとり</sup>一人<sup>1</sup>1<sup>べん</sup>編<sup>ずつ</sup>ずつ<sup>おうほ</sup>応募<sup>できます</sup>できます。

※<sup>し</sup>締め<sup>き</sup>め<sup>きり</sup>切り<sup>は</sup>は<sup>きん</sup>9月<sup>1</sup>日<sup>（金）</sup>（金）<sup>です</sup>です。担任<sup>たんんにん</sup>の<sup>せんせい</sup>先生<sup>ていしゆつ</sup>に<sup>ていしゆつ</sup>提出<sup>して</sup>して<sup>ください</sup>ください。

